

若者が希望持てる社会実現



魅力ある建設産業実現へ結束した総会



大内会長

会員31人が出席。大内会長が原由に起因する資材価格や物流コストの上昇など、依然として厳しい状況が続く県内経済情勢に危機感を示し、

当協会は5月21日、福島市のウエディングエルティで第42回通常総会を開いた。東日本大震災からの第2期復興・創生期間最終年度に当たる今年度は、復興に向けた取り組みとともに、若い世代が将来にわたり希望を持って活躍できるように、業界の地位向上に力を注ぎ、持続的に発展できる安全・安心な社会づくりの推進に、建築設備業界として寄与する。魅力ある建設産業を実現するため、関係団体との連携を強化し、会員一丸で諸活動に取り組むことを誓った。

第42回通常総会

業界の地位向上へ一丸

技術高め、脱炭素化に貢献



星次長

来賓の星剛貞土木部建築担当次長は、東日本大

震災から15年目を迎え、第2期復興・創生期間の最終年度に当たる。地域に根差す組織として、復興に向けた支援はもとより、安全・安心で持続可能な社会の構築に引き続き尽力する。

地元業者活用要望、人材確保・育成など 重点目標事業13項目設定

今年度重点目標事業は①会員の収益性向上による経営安定②空調衛生等設備工事の技術力向上③関係行政機関並びに友好団体との連携強化に関する事業④国・県等行政機関並びに議会に対する、地元業者活用と分離発注等(地産地消)の陳情、請願⑤若年技術者、技能者の確保と育成⑥労働安全衛生の向上を踏まえた環境整備の協会の活動の広報⑦I T化社会への

対応⑨社会貢献⑩県立テクノアカデミーへの協力⑪会員の親睦⑫東日本大震災および原子力災害からの復興・創生支援の協力⑬社会保険加入推進。設備の重要性と分離発注を広くアピールするほか、技術・技能の向上、施工の責任、品質の保証など、経営体質強化を主眼に諸活動を推進する。実践スローガンは次の通り。

震災からの復興が着実に進む一方、激甚化する自然災害や物価高騰、働き方改革への対応、担い手の確保など複雑化する建設業の課題に「建設業が地域の守り手としての役割を積極的に担うことができるよう、建設DXの推進、業務効率化、週休2日促進工事の適用、公共建築工事における設備の総合試運転調整期間を考慮した適正な工期設定に引き続き取り組み」と祝辞を述べた。

第42回通常総会で議決した2025年度事業の実施細目は次の通り。

■会長直轄部門

- ①建築設備産業の活性化を進展させ、適正な受注活動を推進するため発注機関との懇談会の開催
- ②広報パンフレットを媒介とする業界イメージアップ運動
- ③国、県等行政機関への陳情、請願
- ④会員企業の労働環境整備を図るため、雇用管理研修会等の開催
- ⑤社会貢献等事業の実施
- ⑥福島県総合設備協会の活動及び設備3団体との連携強化に関する事業
- ⑦友好団体との連携強化に関する事業

■総務委員会部門

協会の運営及び活動の総括的管理を

掌握し、業界活性化のための事業を行う。

- ①協会活動の基本方針の策定
- ②財政方針の策定
- ③組織運営方策の協議
- ④定款及び諸規定の改正検討
- ⑤会員の叙勲、表彰等の選考
- ⑥機関紙発行に関する財源の確保
- ⑦県立テクノアカデミーへの協力
- ⑧会員の親睦事業の実施
- ⑨ホームページ運用に関する事項
- ⑩他の委員会に属さない事項
- ⑪親睦ゴルフコンペに関する事項
- ⑫インターンシップの推進

■経営委員会部門

会員企業の経営基盤強化を図るため、経営安定策として懇談会、研修会等の事業を行う。

- ①会員の経営体質の強化を図るため、経営改善研修会の開催
- ②新分野への調査・研究
- ③若年技術・技能者等の確保と育成のため、業界活動の啓発

■技術委員会部門

建築設備技術の高度化・多様化に対処するため、施工技術の向上、積算歩掛等の実態調査、講習会及び懇談会を開催する。

- ①公共工事の適正施工を図るため、技術講習会や関係法令勉強会の開催
 - ②高度な設備技術を対象とした特別技術講習会の開催
 - ③新システム(新規受託可能な分野)の技術勉強会等の実施
 - ④工事検査評価と施工指導についての研修会の実施
- 広報委員会部門
協会の啓発、広報及び会員相互の情報交換を図るため、機関紙「空衛ふくしま」を発行するとともに業界をPRする。
- ①機関紙を発行するための広報委員会の開催
 - ②建築設備業界の対外的啓発に関する事業の推進



発行所
一般社団法人福島県
空調衛生工業協会
発行人 大内 弘之
〒960-8021
福島市霞町9-23
(福島管工事会館)
電話(024)526-2036

快適環境創造へ力結集
空調衛生設備工事を通じて
地域の復興・創生に協力いたします。
会員一同

2025年度事業実施細目

人・街・未来へ

株式会社 小泉東北

代表取締役 野村 郁夫

本社 〒983-0035
宮城県仙台市宮城野区日の出町3-3-15
TEL022(352)4651(代)

郡山営業所 TEL024(952)1211(代)
会津営業所 TEL0242(32)9811(代)
石巻営業所 TEL0225(25)7445(代)
仙台南営業所 TEL022(797)7081(代)
福島営業所 TEL024(572)3699(代)

小泉 〒167-8555 東京都杉並区荻窪4-30-16
TEL03(3393)2511(代)

空調・衛生・管工機材の総合商社

富士機材株式会社

■郡山支店 ■
〒963-0725
郡山市田村町金屋字下夕川原167-4
TEL(024)941-3621

■いわき支店 ■
〒972-8316
いわき市常磐西郷町銭田107-15
TEL(0246)72-1571

TOTO 代理店

タカムラ TAKAMURA

〒960-0180
福島市鎌田字卸町13番地の5
TEL(024)553-1464(代)

営業所
福島・郡山・いわき・会津・水戸
仙台・関東東・宇都宮・さいたま
アルテック・未来工房

水道資材総合商社

DAI SAN

太三機互株式会社

本社 〒104-0061
東京都中央区銀座1-19-15
TEL(03)3561-8761(代)

●福島営業所
福島市八木田字榎内23 TEL(024)546-3101
●いわき営業所
いわき市内郷御殿町1-162 TEL(0246)27-7589

SEDIA SYSTEM

郡山 S C (024) 945-2105
会津若松 S C (0242) 23-1122
いわき S C (0246) 24-2266
福島 S C (024) 535-0201
白河 S C (0248) 27-2911

渡辺パイプ株式会社
https://www.sedia-system.co.jp

組織的な防災対策重要

協会 大会
設備 安全
総合 協安

技術研修 働き方改革の施策学ぶ



労災対策のポイントなどを学んだ大会、研修会

県総合設備協会は7月17日、郡山市のビッグパレットふくしまで今年度7日、郡山市のビッグパレットふくしまで今年度

開いた。現場担当者など152人が参加し、安全意識の高揚を図るとともに、労働安全衛生規則の改正内容や県の工期設定に関する考え方、熱中症対策などについて理解を深めた。

丹野勇治県建設協会副会長が「県内建設業の死者数は全産業に占める割合が依然高い。安全意識の定着を図り、新たな



皆川係長



遠藤主幹



横田主査

な知識と技術を習得してほしいとあいさつした。安全大会では、皆川将延福島労働局労働基準部健康安全課安全衛生係長が「労働災害防止対策」をテーマに講演した。

労働安全衛生規則の改正により事業者の熱中症予防措置が義務化されたこと、発見体制の整備など措置内容について説明したほか、組織的な防災対策の重要性を説き、働き方改革として電子納品保管管理システム、情報共有システム、遠隔現場、BIMの活用状況についても触れ、取り組みを促した。

復興前進へ誓い新たに 総会懇親会 課題解決に向け一致団結



復興・創生へ一層の尽力を誓い合った懇親会



高宮委員長

第42回通常総会を終了後、星剛県土木部建築担当次長、高宮光敏県議会議務委員長、渡辺義信自由民主党県支部連合会副会長ら来賓と賛助会員を交えて懇親会を開いた。大内弘之会長が「地球環境保全の一翼を担うものとして、省エネルギー！

新エネルギー技術を駆使し、低炭素社会の実現に積極的に取り組む」「県建設業団体連合会を中心に関係団体と連携を図り、業界の地位向上を目指す」と誓った。高宮委員長は「東日本大震災から14年余りが経過した。県民の努力と国内外からの支援により、復興は着実に前進し、明るい話題も増えてきたが、一方で自然災害は頻発・激甚化の一途をたどっており、強靱な県土や

事業計画は①各種災害発生時の復旧・復興事業への積極参加②関係機関・団体との連携強化③行政機関、議会に対する陳情・請願④支部活動活性化事業(例会、技術研修会、親睦会)⑤行政機関との技術懇談会⑥空調衛生等設備工事の技術力向上など。

【相双支部】今年度総会議案を5月19日付で書面決議した。今年度は相双地区の復興・創生と社会貢献のため、経営体質の改善・強化を図ることを目標に事業を進める。主な計画として①協会事業への積極的な参加②例会の開催③会員拡大④技術者、作業員の確保⑤新型コロナウイルス感染症防止対策一に取り組み。

【いわき支部】いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘で5月16日、第42回通常総会を開き、今年度事業計画を決定した。

【会津支部】栃木県内のホテルで6月2日、通常総会を開き、今年度事業計画を決めた。会員ら9人が出席し、鹿目寿支部長があいさつした。社会情勢や激甚化する災害、建築基準法改正、省エネ基準適合義務化などに対応しながら各種事業を推進する。

支部総会

【東北支部】福島市のウェディングエルティで5月16日、第42期通常総会を開いた。

会員20人が出席。大内弘之支部長が「建設産業を取り巻く環境は大きく変化しており、人手不足、高齢化問題、カーボンニュートラルへの対応、自然災害への備えなど、空

①建設設備工事の直接発注(分離発注)の陳情②技術力向上と経営体質強化③友好団体との連携強化④リニューアルへの積極的な対応⑤会員相互の連携と親睦⑥震災復興・創生支援協力⑦地域ボランティア活動⑧今年度事業計画を決めた。

【県中・県南支部】郡山市管工事協同組合会館で5月16日、第42回通常総会を開いた。

協会各支部、設備設計事務所協会県中・県南支部との交流・意見交換会開催③3支部(県北、会津、浜)交流会の実施④県南支部市町村の分離発注と地元業者発注の要望⑤新規会員の入会促進⑥災害

【会津支部】栃木県内のホテルで6月2日、通常総会を開き、今年度事業計画を決めた。

【相双支部】今年度総会議案を5月19日付で書面決議した。今年度は相双地区の復興・創生と社会貢献のため、経営体質の改善・強化を図ることを目標に事業を進める。

【いわき支部】いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘で5月16日、第42回通常総会を開き、今年度事業計画を決定した。

【会津支部】栃木県内のホテルで6月2日、通常総会を開き、今年度事業計画を決めた。

【相双支部】今年度総会議案を5月19日付で書面決議した。今年度は相双地区の復興・創生と社会貢献のため、経営体質の改善・強化を図ることを目標に事業を進める。

【いわき支部】いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘で5月16日、第42回通常総会を開き、今年度事業計画を決定した。

【東北支部】福島市のウェディングエルティで5月16日、第42期通常総会を開いた。

①建設設備工事の直接発注(分離発注)の陳情②技術力向上と経営体質強化③友好団体との連携強化④リニューアルへの積極的な対応⑤会員相互の連携と親睦⑥震災復興・創生支援協力⑦地域ボランティア活動⑧今年度事業計画を決めた。

【県中・県南支部】郡山市管工事協同組合会館で5月16日、第42回通常総会を開いた。

協会各支部、設備設計事務所協会県中・県南支部との交流・意見交換会開催③3支部(県北、会津、浜)交流会の実施④県南支部市町村の分離発注と地元業者発注の要望⑤新規会員の入会促進⑥災害

【会津支部】栃木県内のホテルで6月2日、通常総会を開き、今年度事業計画を決めた。

【相双支部】今年度総会議案を5月19日付で書面決議した。今年度は相双地区の復興・創生と社会貢献のため、経営体質の改善・強化を図ることを目標に事業を進める。

【いわき支部】いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘で5月16日、第42回通常総会を開き、今年度事業計画を決定した。

【会津支部】栃木県内のホテルで6月2日、通常総会を開き、今年度事業計画を決めた。

【相双支部】今年度総会議案を5月19日付で書面決議した。今年度は相双地区の復興・創生と社会貢献のため、経営体質の改善・強化を図ることを目標に事業を進める。

【いわき支部】いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘で5月16日、第42回通常総会を開き、今年度事業計画を決定した。

千葉氏に旭日双光章

設備業界の地位向上に貢献

令和7年春の叙勲で、展に寄与してきた。94年当協会の千葉隆顧問(倉島設備)が旭日双光章を受けた。専門事業振興功労による受賞。千葉氏は1983年10月の協会設立から、会員として県内設備業界の発展に貢献した。



3団体の連携強化へ 5年ぶり賀詞交歓会開催

県総合設備協会は1月31日、福島市のウェディングエルティで5年ぶりとなる2025年新年賀詞交歓会(写真)を開いた。加盟する当協会と県建設業協会、設備設計事務所協会の会員らと来賓合わせて163人が参加し、今年一年のさらなる飛躍を誓い合った。

大槻博太会長が「共に協力し合い、勉強して素晴らしい設備業界を築いていこう」と3団体の連携強化を呼び掛け、矢澤敏幸県土木部長が「卓越した技能と経験により培われた高い技術力で、社会・経済活動を支える地域の守り手として一層の支援・協力を願いたい」と述べた。

佐藤憲典県議会上土委員、鈴木武男県建設産業団体連合会副会長が祝辞を寄せ、太田光秋自由民主党県議会議長会長の発声で乾杯し懇談した。

【テクアカ会津新入学生募集】喜多方市にある県立テクノアカデミー会津の電気配管設備科は、2026年4月から電気・設備システム科に科名を変更し、学習内容がリニューアルされます。

【26年度生の入学試験日程は、推薦入学試験(学校推薦型選抜)が10月3日(出願期間9月16~26日)、推薦入学試験(総合型選抜)が11月7日(出願期間10月20~28日)、一般入学試験が12月12日(出願期間11月27日~12月5日)です。

東北地 整地 北意見 東と換交

技能者不足、工期に影響

「しわ寄せ回避を」課題共有



東北地方整備局営繕部との今年度意見交換会Ⅱと当協会、県建設業協会... 写真は5月29日、福島市の県協会議室で開かれた...

設専門官、小泉健一情報者不足が深刻化し下請企... 田智福島河川国道事務所防... 近藤対策官が「円滑な事業... 課題を共有するため意見交... 交換したい」と述べ、大... 内会長は「働き方改革や... 質上げ対応など課題は山... 積しているが、社会イン... フラとその担い手は守り... 続けなくてはならない... 有益な意見交換により、... 業務の改善を図ってい... たい」とあいさつした。

環境改善へ連携強化

建築・設備県内3団体 設計側と意見交換も



当協会と県建設業協... 度も引き続き、建築工事... の働き方改革推進に向け... て連携を強化していくこ... とを確認した。3団体は24年3月、県... 問題点を尋ねる。

4月より福島県相双... 建設事務所建築住宅部... に着任しました。相双... 地方は初めての勤務と... なりますが、東日本大... 震災以降の災害対応や... 復旧・復興事業では相... 双地方に関する様々な... 業務を担当しましたの... で、協会会員企業様を... はじめとして、市町村... 職員の皆様など、多く... の方々に大変お世話に... なりました。「震災の... 伝承」が本県の課題の... 一つということもあり... 探しは容易ではなく、... 公共・民間を問わず... 様々な土地の調査に行... くことになりました。

平成23年5月下旬... 頃、応急仮設住宅建設... 担当の部屋には全国の... 自治体から応援職員... 方が大勢きていたとい... ており、元気が活気が... ありました。部屋にお... 屋のNHKニュースを... 見ていると、当時の菅... 直人首相が「遅くとも... お盆までには希望者す... べてに応急仮設住宅に... 入っていただけるよう... に」と国会で発言して... いましたが、残念ながら... ら実現不可能なことは... 明白でしたので、部屋... の誰も何のコメントも... していませんでした。... つきりと覚えています... す。まずは、避難先か... と、涙ながらに手紙を... 読まれました。も

野町といわき市の担当... として出席していまし... た。広野町は当時、今... のいわきFCパークに... 役場が避難していまし... た。会議が進む中で今... の沿岸部の復興の形が... できてきました。津波... 被害を軽減するための... 防潮堤や防災緑地、広... 野・小高線の高上げな... どがあったと思いま... す。新地町からいわき... 市までの沿岸部の調査... や計画が形となるな... か、浪江町から楡葉町... については原子力事故... による警戒区域で立ち... 入りが制限されている... ところが多く、調査や... 計画は見送られていま... す。

当時、国土交通省の... 担当が熱い思いで会... 議を進めておられ、激... 高して涙を流しておら... れた時がありました。... なかなか思うように進... まないことや、被災地... を何とかしたいという... 思いがあつてのこと

設置住宅地の解体や集... 約のための入居者説明... が必要になってきま... した。震災以降、何度... も引越してしよう... やく応急仮設住宅で落... ち着いたのに今度は出... てくださいということ... になりますので、説明... 会は重苦しく厳しい意... 見もいただきました... が、各市町村職員の皆... の再帰も、仕事が大変なこ... とに変わりました。... 平時も災害対応時... も、係員に恵まれ、何か... 仕事をすることができ... ました。ありがとうございました。

災害対応時の記憶

県相双建設事務所 建築住宅部長 須藤 祐樹



休憩室

平成23年4月、応急... 頃、応急仮設住宅建設... 担当の部屋には全国の... 自治体から応援職員... 方が大勢きていたとい... ており、元気が活気が... ありました。部屋にお... 屋のNHKニュースを... 見ていると、当時の菅... 直人首相が「遅くとも... お盆までには希望者す... べてに応急仮設住宅に... 入っていただけるよう... に」と国会で発言して... いましたが、残念ながら... ら実現不可能なことは... 明白でしたので、部屋... の誰も何のコメントも... していませんでした。... つきりと覚えています... す。まずは、避難先か... と、涙ながらに手紙を... 読まれました。も

平成23年7月頃、い... わき市泉駅のそばの民... 有地を無償で借りるこ... とができるということ... で、建設を希望した富... 岡町職員の方と数名で... 地区の区長さんに説明... をさせていただきまし... た(原子力災害により... 避難している双葉郡町... 催したところや断られ... 催されておられ、私は広

入りが制限されている... ところが多く、調査や... 計画は見送られていま... す。当時、国土交通省の... 担当が熱い思いで会... 議を進めておられ、激... 高して涙を流しておら... れた時がありました。... なかなか思うように進... まないことや、被災地... を何とかしたいという... 思いがあつてのこと

設置住宅地の解体や集... 約のための入居者説明... が必要になってきま... した。震災以降、何度... も引越してしよう... やく応急仮設住宅で落... ち着いたのに今度は出... てくださいということ... になりますので、説明... 会は重苦しく厳しい意... 見もいただきました... が、各市町村職員の皆... の再帰も、仕事が大変なこ... とに変わりました。... 平時も災害対応時... も、係員に恵まれ、何か... 仕事をすることができ... ました。ありがとうございました。

